

助成システムのご利用について

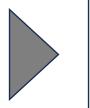
2024年 システムチーム



1. 助成システムを使う目的について



① 契約情報の管理



> 事業計画や資金計画の変更

変更手続きを 電子化

- > 団体の住所変更や代表者の変更
 - -法令遵守やガバナンスを順守する情報の管理(役 員情報などの登録)

② お金の流れの管理

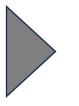


助成金の申請~毎月、毎年の収支管理、事業完了時の精算

- 口座情報の管理
- -区分経理の書類の提出状況

助成金の利用 状況が見える化

③ 事業情報の情報公開



- ▶ システムに登録されている情報の情報公開
 - -シェルター事業などの住所や電話番号などは非公開
 - -公開できない添付ファイルも公開用と非公開用で管理可能

円滑な情報公開

2. 本システムについて



助成システムの概要 ~基本設定の確認方法~

- ・システム共通的な操作方法
 - (1) 採択された事業の見方
 - (2) (2) 詳細(参照)画面の確認方法
 - (3) 画面更新の方法(直接編集、様式取り込み)
 - (4) 添付ファイルの掲載方法
 - (5) 入力データの変更

3. 新システムの概要



1. 新助成システムについて

URL: https://grantsys.janpia.or.jp/imart/login プラットフォーム: intra-mart Accel Platform

2. 動作保障環境

OS	ブラウザ		
Windows10、Windows11	Edge、Chrome の最新版		
macOS 10.15 Catalina	Chrome の最新版		

- ※スマートフォン用サイト・レスポンシブ対応は実施しておりません。
- 3. 利用開始時期 担当POから仮のIDとパスワード発行連絡の後から利用が可能となります。
- 4. ログイン方法

IDとパスワードを利用してログイン。※希望があれば資金分配団体・実行団体ユーザはGoogle Authenticatorを用いた多要素認証を実施してログインもできます。

画面のイメージ ポータルサイト





<u>ダッシュボード</u>

各種申請書類の提出状況・提出期間・ 提出期限を1画面で確認できます。

各資金分配団体単体・各実行団体単体の状況を確認できる他、資金分配団体は実行団体提出状況のサマリ情報も確認できます。

事業・実行団体ツリー

各採択事業、各実行団体事業を 事業種別毎にツリー表示します。

選択事業の情報がダッシュボードに表示されるため、画面やアカウントを切り替えることなく、各事業・各実行団体の手続き状況を確認することができます。

※上記対応に伴い、事業毎に発 行されていた団体アカウント を統合します。

メニュー							*
1. 団体情報		2. 事業採択		3. 事業計画・報告・	評価		
0000XXXXこちられださい。	から手続きく	0000XXXXごち ださい。	5らから手続きく	0000XXXXZ5	らから手続きくだ	ださい。	
	~	採択事業登録		事業計画変更	詳細	評価計画変更	詳細
団体情報変更	詳細	採扒争未 豆琢	詳細				
	8十4四	公募結果報告	詳細	進捗報告	詳細	事前評価報告	詳細
役員情報変更	詳細		81 154	事業完了報告	詳細	中間評価報告	詳細
規程等提出	詳細					事後評価報告	詳細
利用者情報変更	詳細						
4. 資金計画・助成申請	青						
①資金計画選択		→ ②資金計画関	係手続き				
手続きする資金計画を選択してください。 〇〇〇〇こちらから手続きください。 〇〇〇〇こちらから手続きください。 ✓							
		資金計画		助成申請		詳細	
		月次精算	報告	受領書提出		詳細	

各種申請メニュー

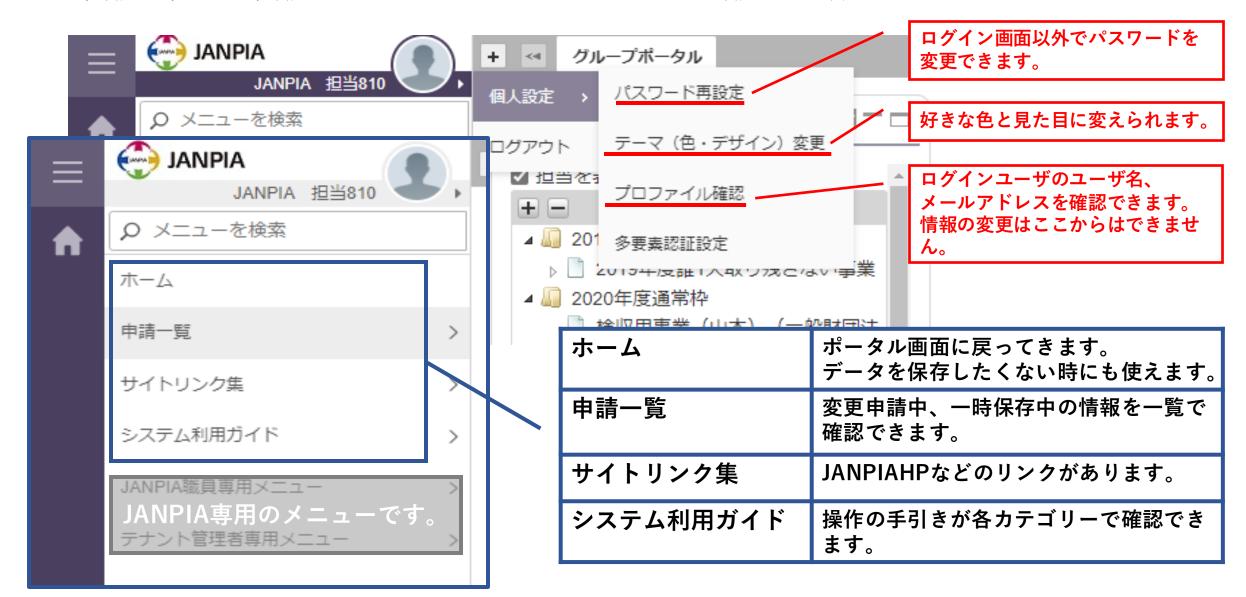
手続きの全体像を視認できるよう、各手続きをメニュー化して表示します。

ユーザの追加も資金分配団体が行える ようになります。

3. 新システムの概要 ~基本設定の確認など~



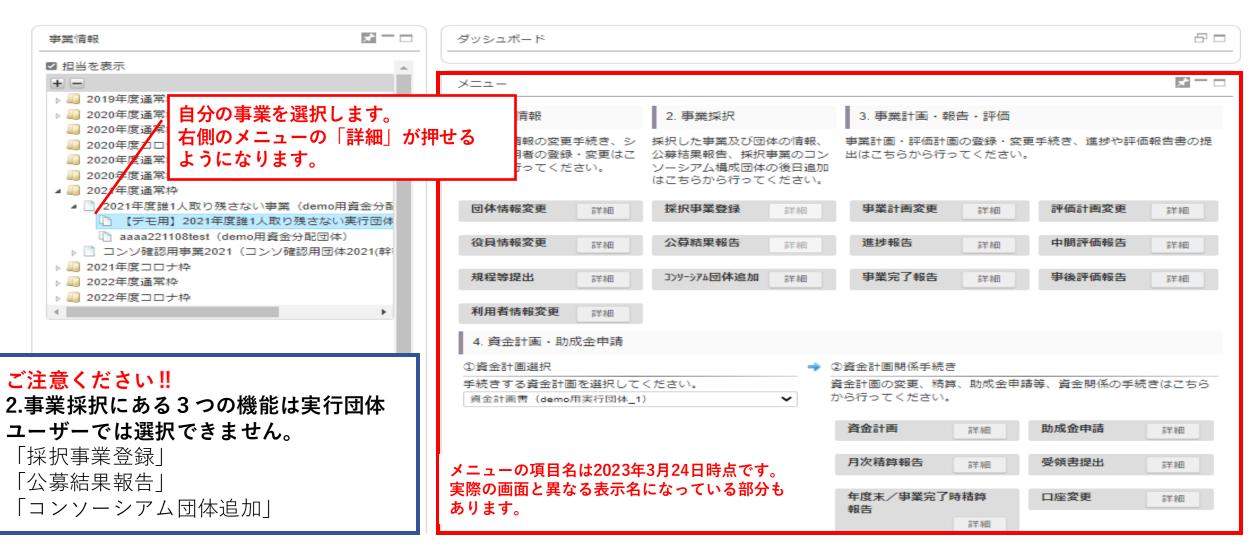
1. 基本設定の確認 ※本設定はシステムにログインするユーザーごとに設定される項目です。





システム共通的な操作方法

(1) 採択された事業の見方

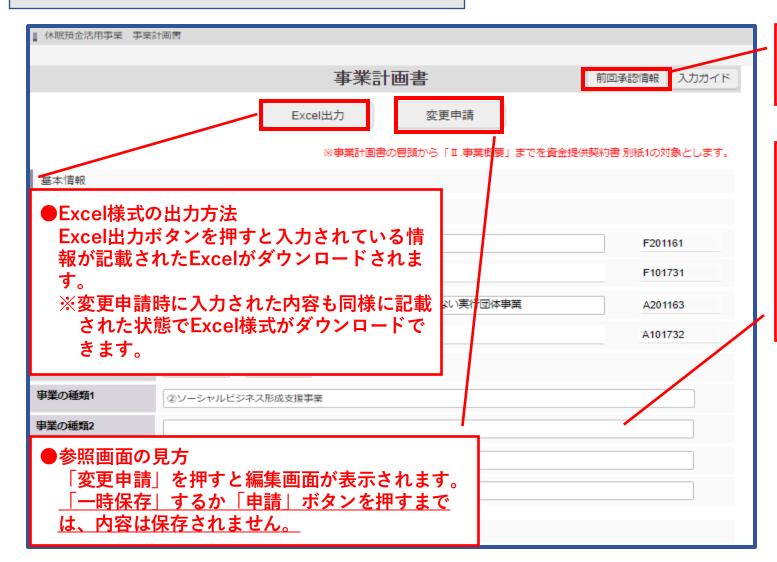




システム共通的な操作方法

(2) 詳細(参照) 画面の確認方法

詳細(参照)画面では、編集することはできません。 「変更申請」ボタンを押すと編集ができるようになります。



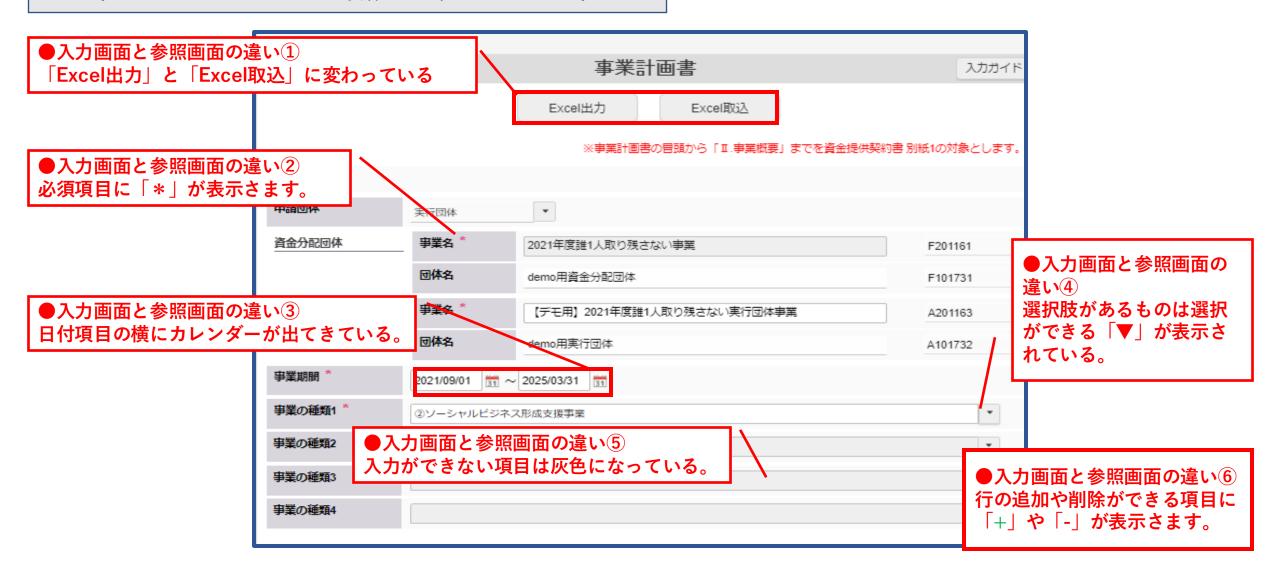
画面には最新の情報が表示されていますので、過去に承認された情報を見たい時には「前回承認情報」から参照することができます。

- ●参照画面の見方
- 「詳細」を押すと参照画面が表示されます。 システムに登録された最新の情報が画面上に表 示されます。
- ※修正された項目があると赤い字で表示さます。 項目の白い箇所をクリックしても入力モード にはなりません。



システム共通的な操作方法

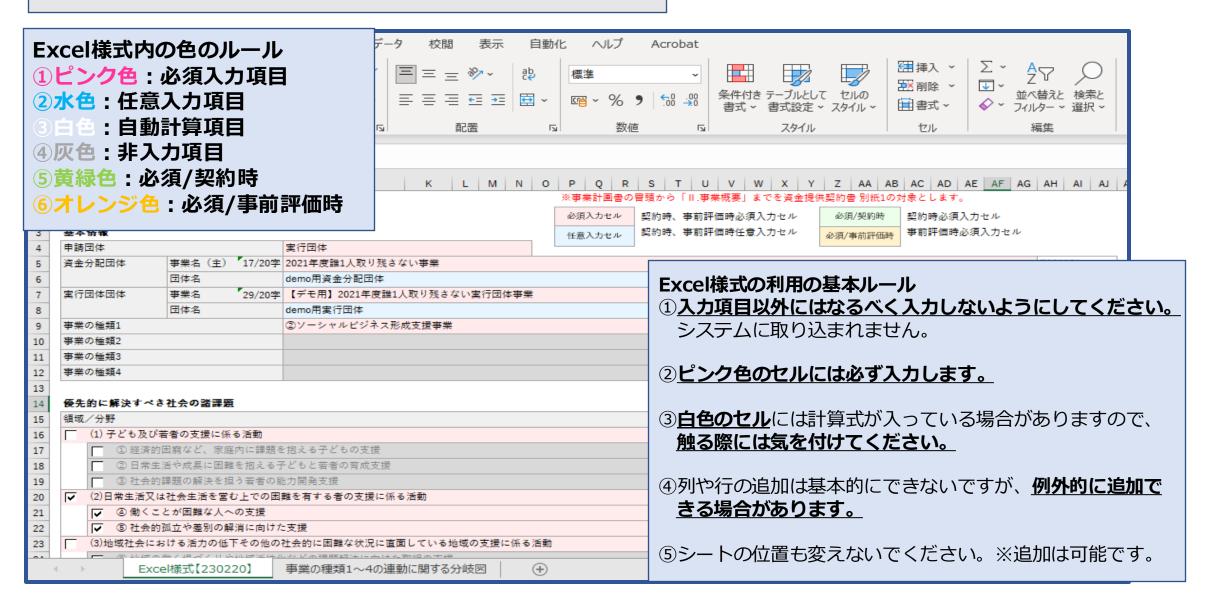
(3) 画面更新の方法(直接編集、様式取り込み)





システム共通的な操作方法

(3) 画面更新の方法(直接編集、様式取り込み)

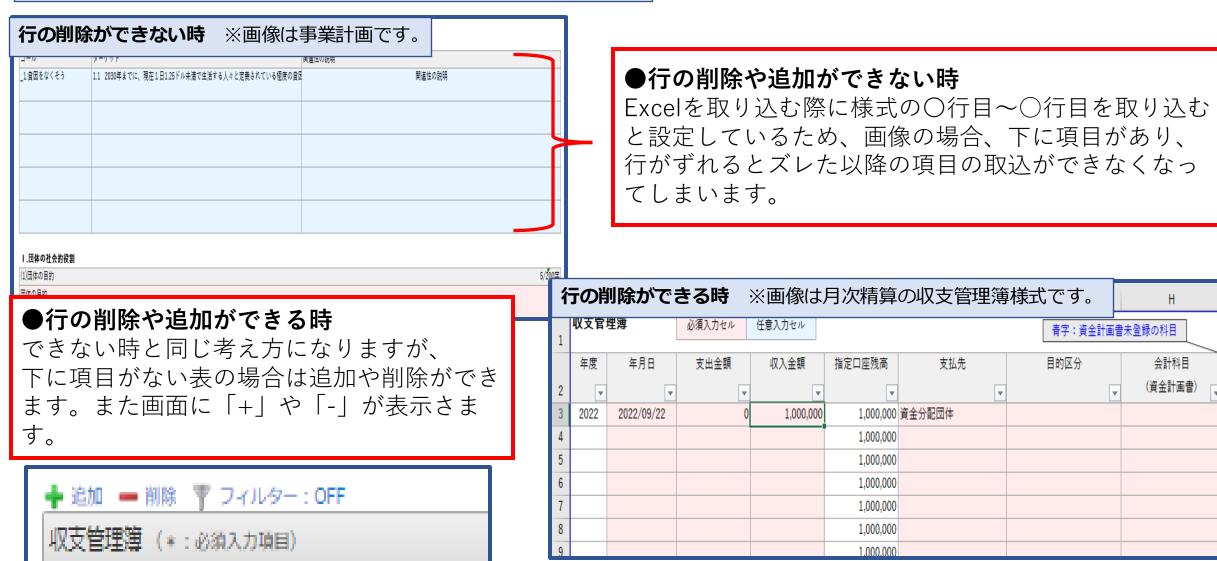




システム共通的な操作方法

(3) 画面更新の方法(直接編集、様式取り込み)

★Excel様式では列の削除は禁止です!





システム共通的な操作方法

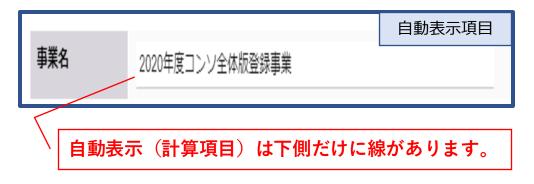
- (4)添付ファイルの掲載方法
- ①変更申請ボタンを押して、編集画面を開きます。
- ②「+」でファイル追加ができます。



システム共通的な操作方法 (5) 入力データの変更

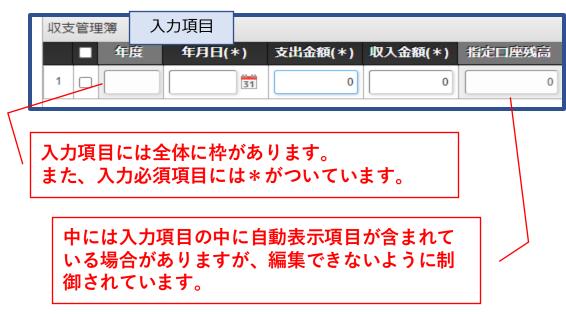
入力データの変更には2つ方法があります。どちら方法でも共通して、「変更申請」ボタンを押すと画面の変更ができるようになることです。

- ●入力データの変更方法
- (1) エクセル様式を取込内容を反映させます。
- (2) 画面を直接編集します。
- (2)の画面直接編集の時には、画面上に入力できる項目と内容を自動で表示する項目があります。



自動表示する項目の例

- ・事業名、事業コード、団体名、団体コード、現金出 納帳の現金残高など
- ※計算結果の表示や別画面の情報を表示する項目です。





システム共通的な操作方法 (5) 入力データの変更

★データ変更中の注意点

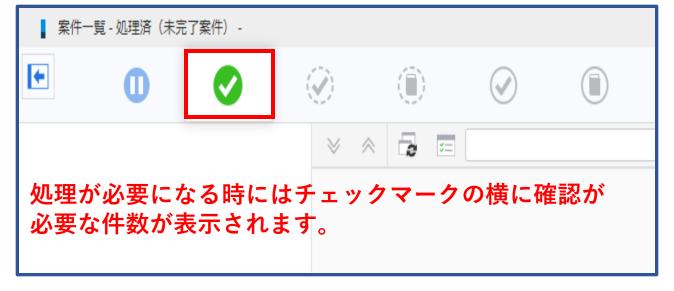
データ変更ができる場合

●変更申請が押せる時

未処理一覧や一時保存一覧に何も入って ない時

<u>※Excel取込時に行や列が変わっていると取込</u> 時にエラーが出ますので、ご注意ください。

未処理一覧に何もない時の画面





システム共通的な操作方法 (5) 入力データの変更

★データ変更中の注意点

承認されているか確認する方法

フロー

月次精質報

【21(通)】

0000010370 台

2023/02/24

コンソ確認用団体2021(幹事)



確認したい案件の名前にマウスをかぶせると吹き出しが 出ます。フローを選びます。

▶処理中=現在の担当者

処理者をクリックすると誰が処理をすることができるか 表示されます。

※FDOからADOに「差戻」された時には申請に戻ります。

基本的なワークフロー:ADO→FDO→確定

事業/資金計画のワークフロー: ADO→FDO→JANPIA→FDO→確定 ※資金提供契約書に定めるJANPIAの事前確認が含まれています。

データ変更ができない場合

●変更申請が押せない時

- ・未処理一覧に編集したい案件がある時
- ・団体に所属するいずれかのユーザーが一時保存 を行っている時
- ・承認中になっている時

処理日時	ノード名	= 処理	処理者
2023/02/24 18:15	② 1.申請	提出	demouser 5 幹事団 体
	🙆 仮ユーザ通知(自動承認)		申請者
	2 2.FDO承認		事業+パブリック グループ+資金分配 団体
	3.JANPIA承認		事業+パブリック グループ+JANPIA
	② 4.FDO承認		事業+パブリック グループ+資金分配 団体
▶ 処理中	② 3.JANPIA承認		事業+パブリック グループ+JANPIA

問い合わせ方法

JANPIAでは、休眠預金助成システム専用のサポートセンターを用意しています。システムの利用方法 についてご不明点がある場合には、メールアドレスまでご連絡ください。

休眠預金助成システムサポートセンター

E-mail <u>system_support@janpia.or.jp</u>

返答目安時間 9:30~17:30(土日祝日・年末年始を除く)

[問いあわせ時のご注意]

- ●お問い合わせの際は、「団体名」「事業名」「ご担当者様の氏名」をお知らせください。
- ●お問い合わせの内容によってはエラーが発生している画面の写真などが必要になることがあります。
- ●以下のようなご要望・お問合せについてはサポートセンターではお応えできませんので予めご了承願います。
 - ・助成システムへの入力代行について
 - ・他の団体に関する情報提供について
 - ・登録されている他のユーザ情報の照会、登録、削除等について
 - ・助成システムへの入力内容の正誤問合せ等

最後に入力情報の開示



注意

事業運営の透明性の向上の観点から、 システムの項目に入力された内容の多くが公開されます。

- ・情報は**正確に**入力してください。
- ・団体情報には、**開示可能な情報**を入力してください。
- ※「利用者情報」、入力された「役員情報」の画面の内容は開示されません

ご清聴ありがとうございました。